

経営比較分析表（平成29年度決算）

奈良県地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県西和医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	透I訓	救臨地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	20,558	非該当	7：1	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
300	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	300
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
300	-	300

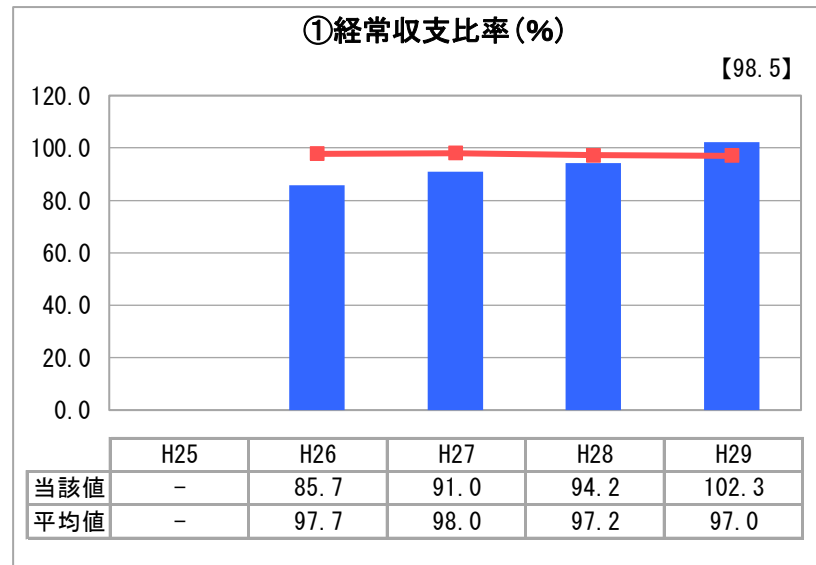
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

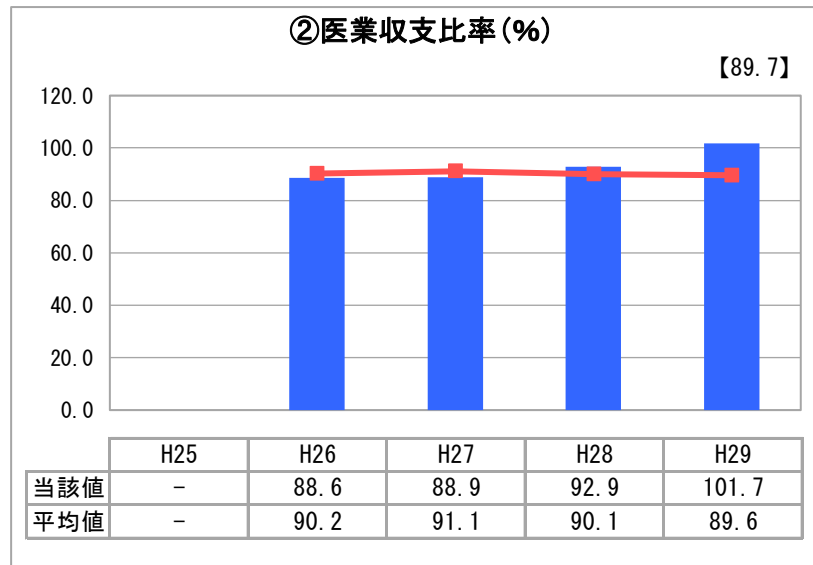
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

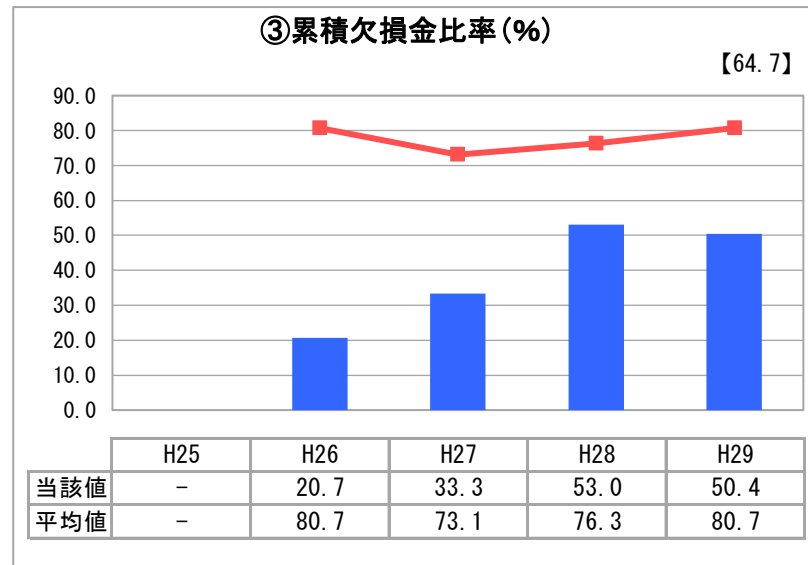
1. 経営の健全性・効率性



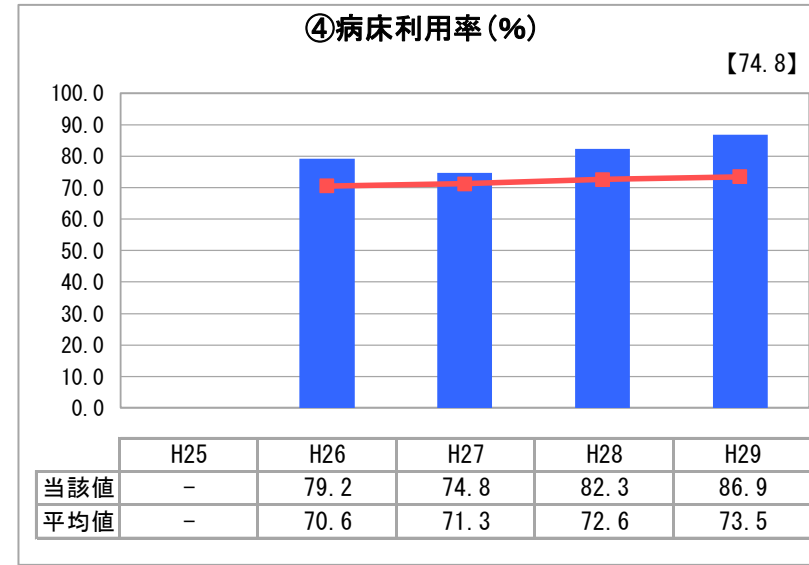
「経常損益」



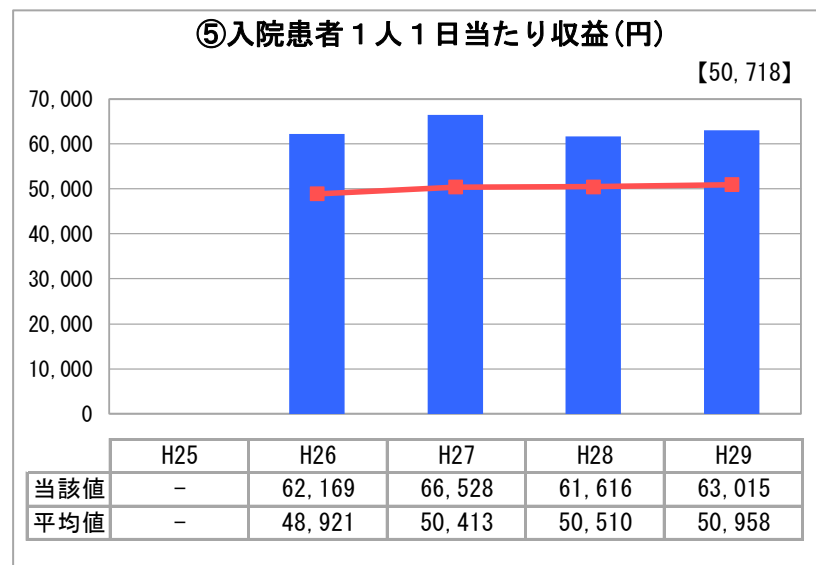
「医業損益」



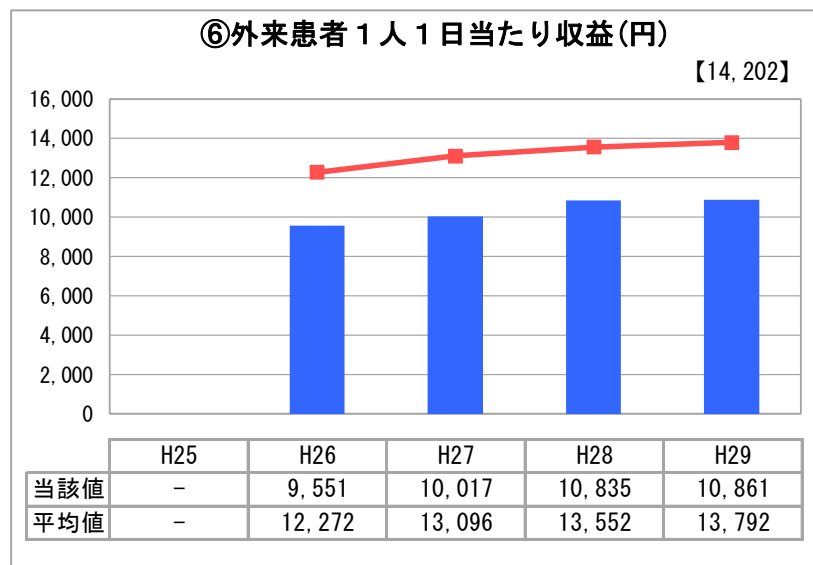
「累積欠損」



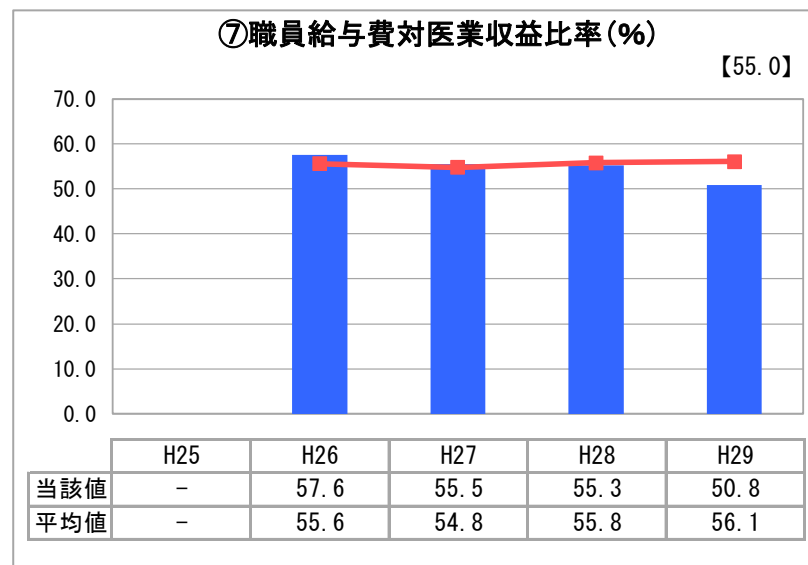
「施設の効率性」



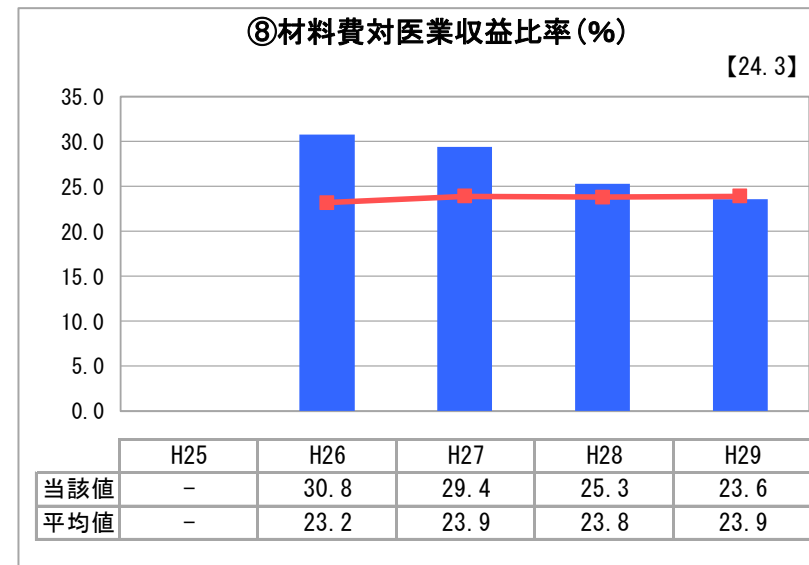
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

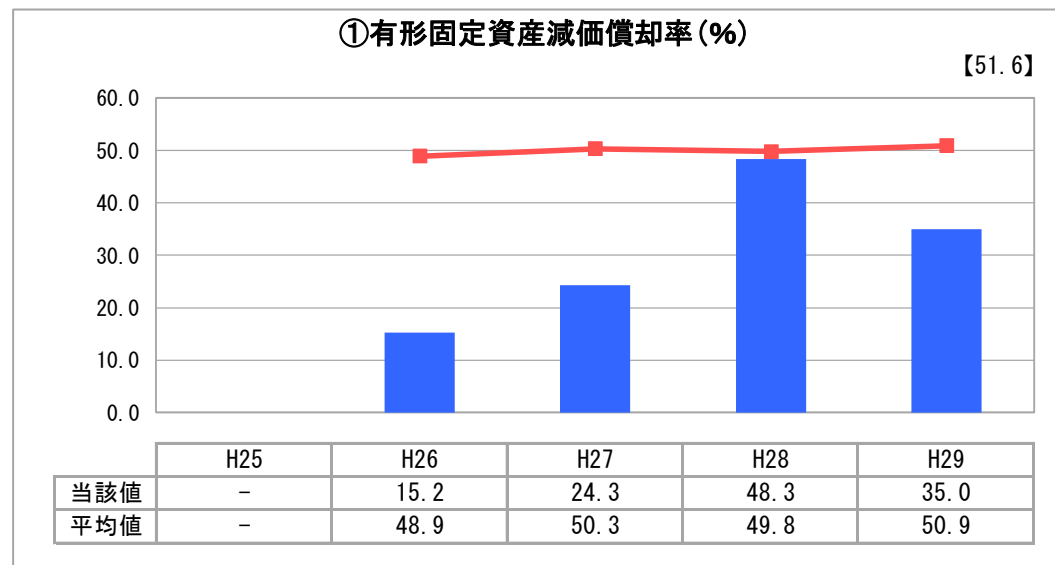


「費用の効率性①」

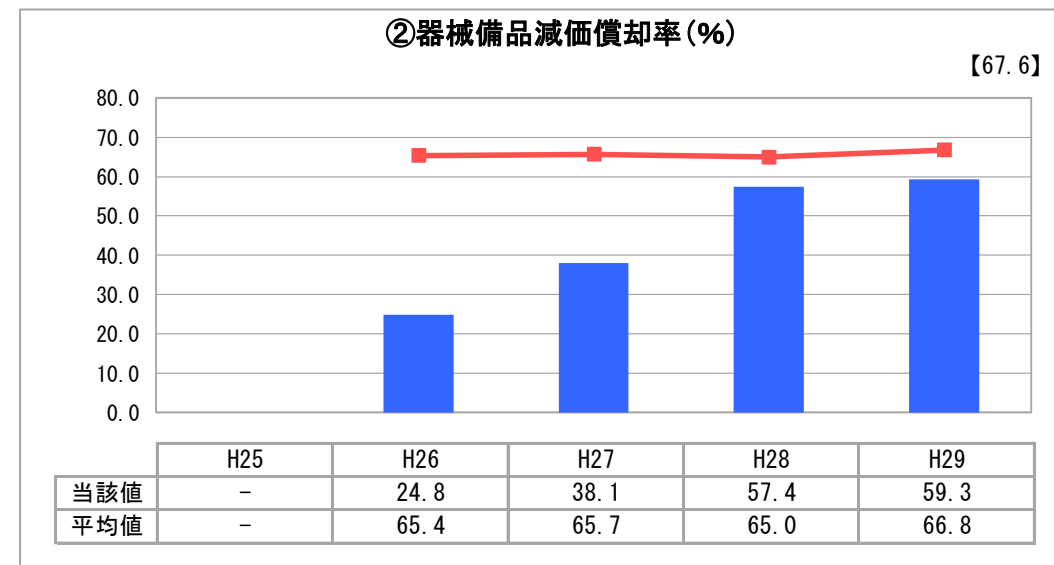


「費用の効率性②」

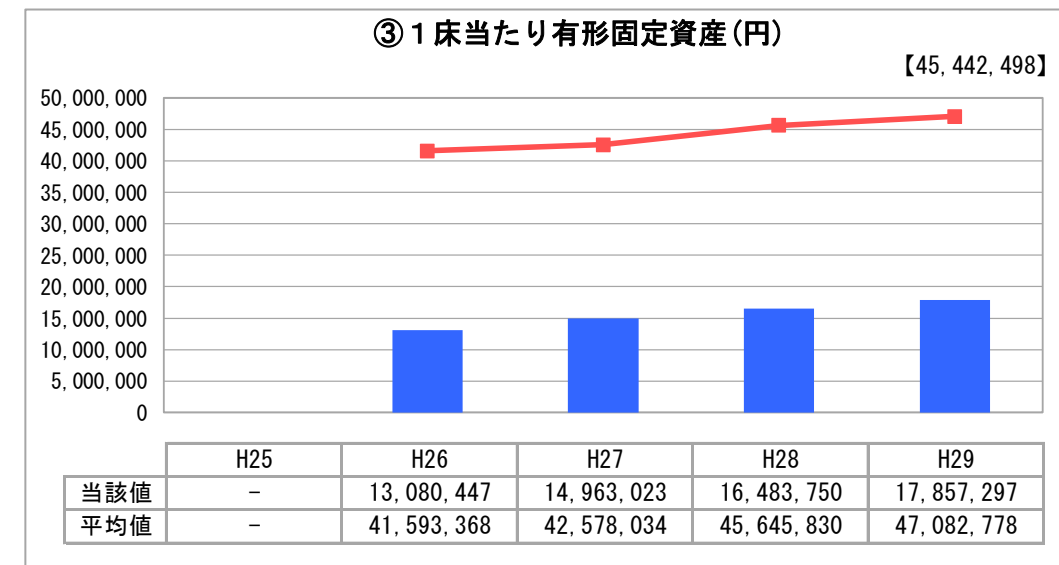
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

奈良県西和地域、特に西和地域南部において急性期医療（二次救急）を提供する基幹病院として、地域住民に必要な医療を提供している。西和地域では、高度急性期・急性期の患者のうち脳疾患、心疾患等の循環器疾患の患者のほとんどは受け入れているが、がんを対象とする消化器外科は他の医療圏に流出している状況にある。今後も引き続き、脳血管・心疾患等の循環器疾患を中心とした急性期医療を提供していくとともに、西和地域の二次救急の啓として、様々な患者に常時対応していく。また、西和地域は高齢者人口の増加が見込まれることから、複合的な疾患にも対応できるよう必要性の高まる診療科については維持継続するとともに、肺炎などの呼吸器疾患、糖尿病疾患の医師確保を進め、地域住民に必要な医療を提供していく。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

病床利用率が類似病院平均値と比較し高い水準にあるが、救急医療や地域の医療機関との連携を強化し、更なるベッドコントロールの徹底を図る。

また、後発医薬品への切替促進、価格交渉の強化により、薬品費及び診療材料費の削減を図る。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率は類似病院平均値より低い水準にあるが、器械備品減価償却率が年々増加傾向にあるなど、引き続き施設・備品の老朽化度合と必要性を考慮の上、計画的な更新を進める。

全体総括

医業収支比率については、概ね類似病院平均並の水準であるが、外来患者1人1日当たり収益については、低い水準で推移している。

今後、さらに質の高い医療を効率的な体制で提供できるよう、総合医療センターとの連携応援体制の構築や、その他の関係機関との連携も推進していく。

材料費対医業収益比率については、年々減少傾向となっているので、継続して、後発医薬品への切替や価格交渉の強化により、費用削減を図っていく。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。